



ケータイ・スマホとの関わりについて子供に教えたこと

子供とインターネット端末（ケータイ・スマホ・SNS等）の関わりについて、次の調査結果が示すように、新聞でも報道されているようなトラブルやいじめ、学習時間の減少などの問題は厚木市内の子供にとっても身近な課題と言えます。

学校はトラブルの未然防止教室の実施などの取組をしておりますが、それだけでは子供を守りきれません。やはり、それらの機器を使用させている保護者が適切に管理する必要があります。

そこで、各学校・各家庭で子供と保護者がケータイ・スマホ利用のルールを考えるためのきっかけとして、保護者の皆様へのメッセージを発信します。

【ご存知ですか？子供の实態】

次のデータは厚木市内小学校5・6年生と中学校全学年対象に一部の学校を抽出して行った調査結果です。

Q1 ケータイ・スマホを利用している(自分の所有機器と親の機器の使用を合せて)

⇒ 小学校5・6年 40% 中学校 75%

Q2 今までケータイ・スマホを利用して怖い思いをしたことがある

⇒ 小学校5・6年 43% 中学校 25%

(例)・悪口や中傷、事実でないことなどを書かれた。・知らない人にネット内で付きまとわれた等

Q3 ネットを通じてしか知らない人(会ったことのない人)とのやり取りをしたことがある

⇒ 小学校5・6年 32% 中学校 35% (小学校)その事を親も知らない割合 8%

Q4 ケータイ・スマホの利用が自分の生活に与える影響はどんなことがありますか

⇒ 小学校 勉強時間の減少(10%) 返信来ないと不安(8%) 人に相談できない事がある(7%)

中学校 勉強時間の減少(40%) 関わっていないと仲間外しが怖い・なかなか終われない(多数)

① ケータイ・スマホと「自分(子供)自身」の関わりについて

👉自分の時間を大事に活用できる使い方をさせましょう

・勉強時間の減少や、いつまでもメッセージが途切れずに寝る時間に影響が出ている状況については、調査のとおり子供自身も困っています。「うちは夜〇時以降は電源を切らせます。」等、大人がルールを作り、子供の時間を守ってあげることで救われる子供もいるのです。(はじめは反発しますが、子供のためです。)また、子供に相手の時間や都合を考えさせることも大切なことです。

👉困ったことがあったら大人に相談するよう約束しておきましょう

・使用している中で、子供自身ではどう対応したらよいか分からないことは起こりがちです。また、恥ずかしかったり後ろめたかったりして親に相談するのをためらうような内容のトラブルもあるかもしれません。

「そのようなときでも、相談すれば親は絶対に守ってくれる」という安心感を日頃から持たせ、相談された場合は、関係諸機関への相談等も視野に入れながら、一刻も早く、問題の解決を図りましょう。叱るのはその後で…